

「令和2年度 環境経営・SDGsの取組に関するアンケート」調査結果報告書

I アンケート実施概要

1 目的

「川越環境保全連絡協議会」・「エコアクション21地域事務局さいたま」・「川越市」の3者は、地域での環境経営の普及促進等を目的に連携して事業を行ってきました。しかし、今般のコロナ過により、これまでと同様の取組が困難となったことから、今後の活動を検討するうえで、次のことを目的に本アンケート調査を実施することとしました。

(1) 3者官民連携による活動としての目的

企業における「環境経営」及び「SDGs」の取組状況や考え方等を把握し、今後の事業企画立案の基礎資料を収集すること。

(2) 川越市としての目的

SDGsの達成に向けた官民連携モデル事業として、3者協働による更なる取組の展開を図ること。

(3) 川越市及びエコアクション21地域事務局としての目的

企業における「環境経営」の取組状況や考え方を把握し、「エコアクション21認証・登録制度」の普及を図る上での基礎資料を収集すること。

(4) 川越環境保全連絡協議会としての目的

「会員企業数の拡大」、「会員企業間の連携強化」、「会員企業の環境活動・SDGsの取組促進及びレベルアップの支援」を図るための活動企画立案の基礎資料を収集すること。

2 アンケート調査対象

(1) 川越環境保全連絡協議会全会員企業

(2) 川越商工会議所会員企業

所 属	発送数
川越環境保全連絡協議会	72
川越商工会議所	591
合 計	663

3 実施期間 令和2年11月10日から令和2年12月25日まで

4 回答方法 郵送、FAX、電子メール

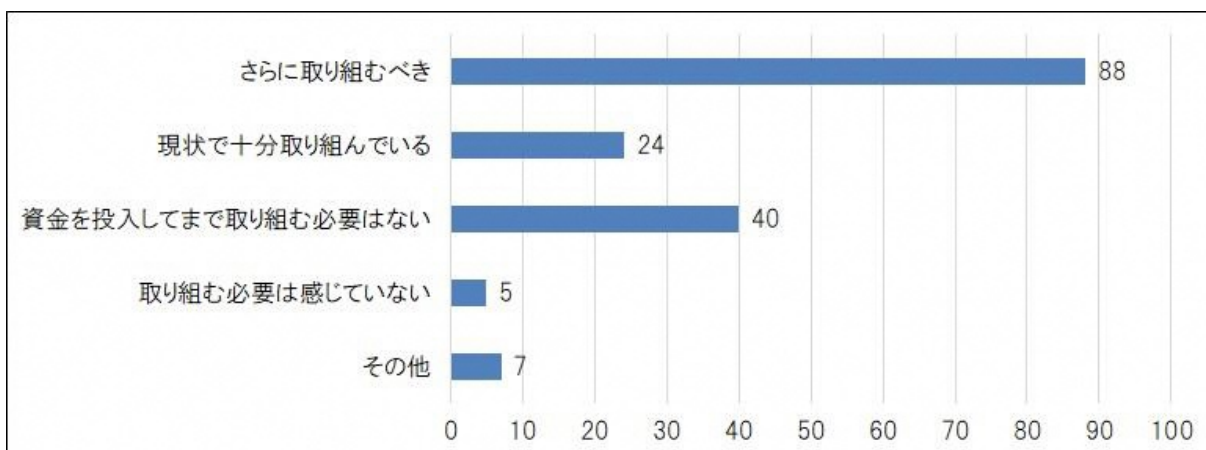
5 回答数 164件（回収率 24.7%）

II アンケート集計結果

1 環境経営の取組について

質問1 貴社の環境の取組に関する考え方について教えてください。（一つ選んでください。）

環境の取組に関する考え方としては、「さらに取組むべき」「現状で十分取組んでいる」を選択した事業者が約68%となり、環境への取組が必要と考える事業者が多い結果となりました。

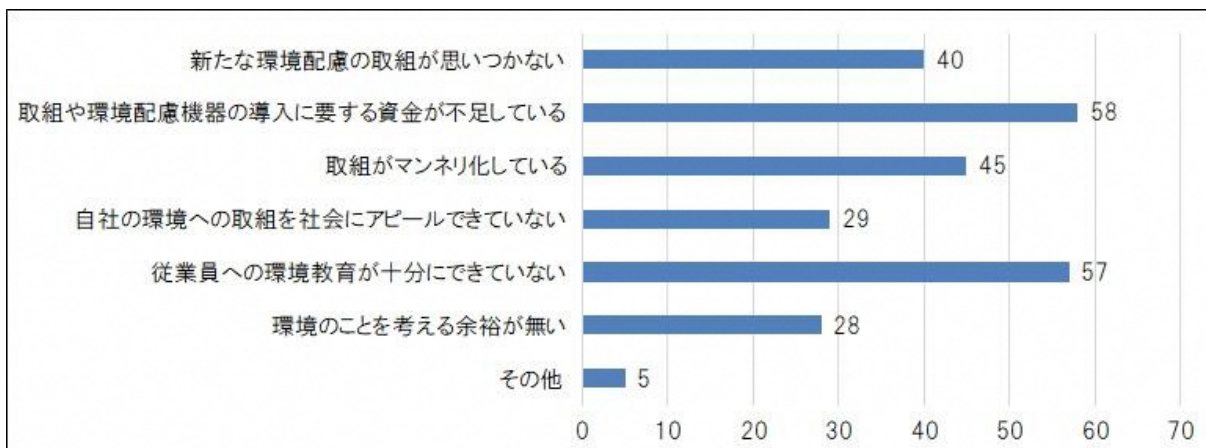


○その他の意見内容

- ・ 経営者や管理職がエコアクション 21 等を知らない、関心が無い。
- ・ 十分取組んでいるとは言えないが、取組める事はしている。
- ・ 環境配慮の重要性は理解しているが、今は、コロナでいっぱいです。
- ・ 情報不足。

質問2 貴社の環境の取組についての課題を教えてください。（複数回答可）

コロナの影響もあり、経営自体が厳しい状況にある中で、資金不足を課題にあげる事業者が多い結果となりました。また、従業員に対する環境教育ができていないと考える事業者が多いこともわかりました。

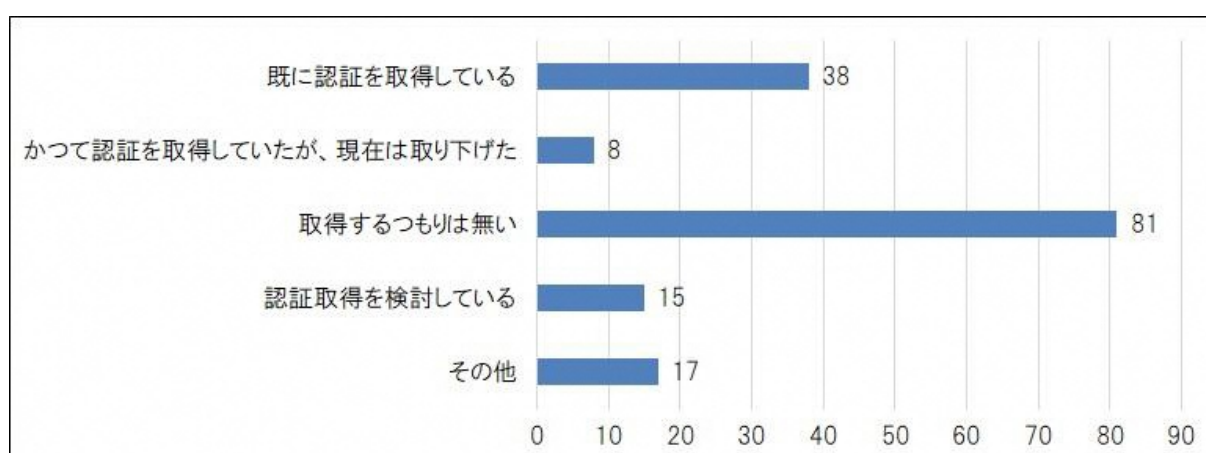


○その他の意見内容

- ・ 経営者、管理職が必要性を理解できない。
- ・ 環境についてのマニュアルが無い。
- ・ 具体的に何をやればいいのかわからない。

質問3 環境経営に係る認証（ISO14001、エコアクション21 など）について教えてください。（一つ選んでください。）

環境経営に係る認証については、回答のあった事業者のうち約19%が取得している状況でした。また、約50%の事業者が「取得するつもりはない」と回答しており、環境の取組が必ずしも認証取得につながらないことが考えられます。



○その他の意見内容

- ・ 経営者・管理職が、認証があること自体を知らない。
- ・ 印刷業界としてグリーンプリンティングの認定を受けている。
- ・ 親企業でISO14001を取得。準じた形での運営にとどめている。
- ・ 現時点では取得する余裕がない。資金不足。
- ・ よくわからない。営業するのに必要な認証で手いっぱい。
- ・ 認識していなかった。 ・ 情勢を見たうえで今後検討したい。
- ・ 以前取得を検討したが、対応しきれず断念した。
- ・ 本社にて検討。 ・ 主に工場が海外にある。
- ・ 取得を目指したいが、環境経営についての知識がまだ乏しい。

○事業者が取得している環境経営に係る認証の内訳

- | | | | |
|-------------|-----|----------------|----|
| ・ ISO 14001 | 26社 | ・ エコアクション21 | 7社 |
| ・ エコステージ | 1社 | ・ 埼玉県エコアップ認証制度 | 1社 |

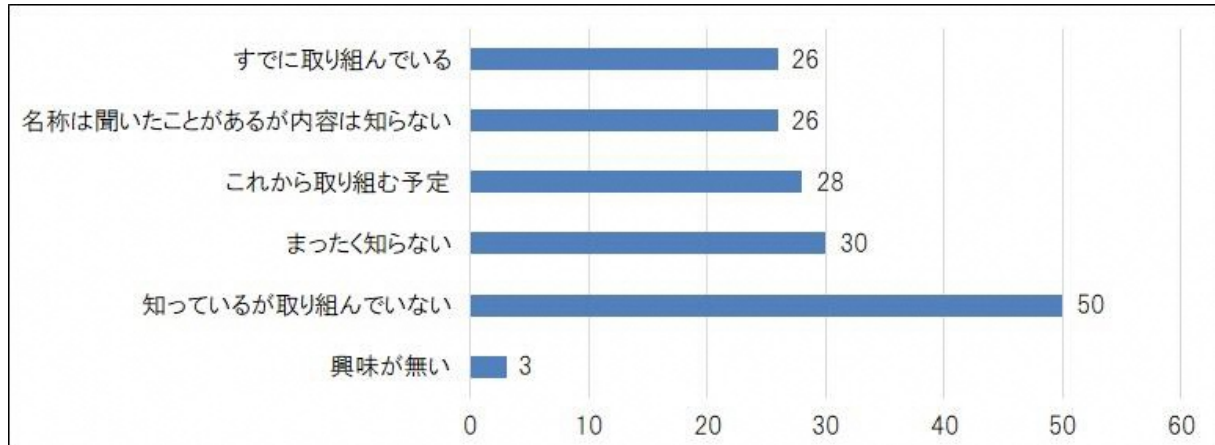
用語解説

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| ・ ISO 14001 | 国際標準化機構が策定した環境マネジメントシステムの国際規格 |
| ・ エコアクション21 | 環境省が策定した環境マネジメントシステムの国内規格 |
| ・ エコステージ | (一社)エコステージが策定した環境マネジメントシステムの国内規格 |
| ・ 埼玉県エコアップ認証制度 | 埼玉県独自の環境マネジメントシステム |

2 SDGs(持続可能な開発目標)について

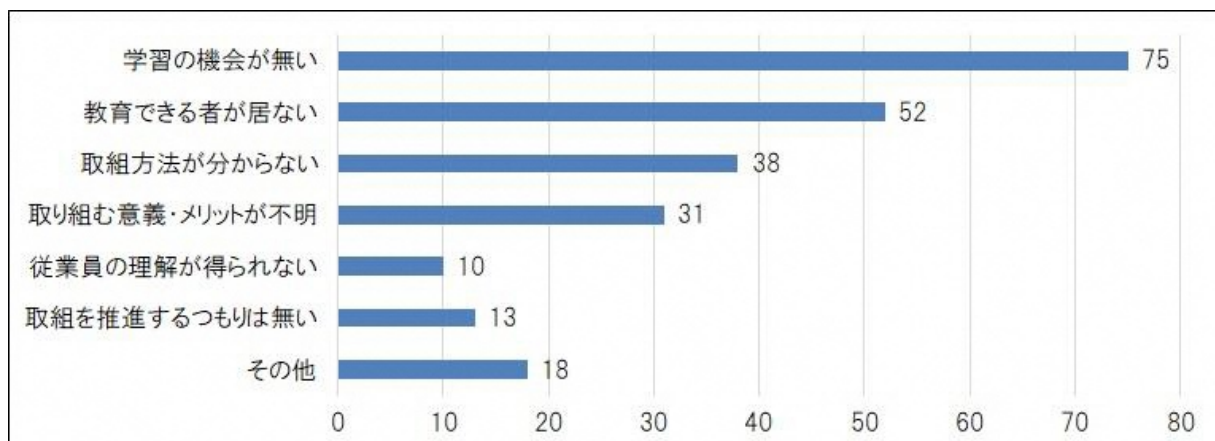
質問4 「SDGs(持続可能な開発目標)」を御存知ですか？(一つ選んでください。)

SDGsについては、「知っているが取り組んでいない」との回答が最も多く、「まったく知らない」や「名称は聞いたことがあるが内容は知らない」も含めると約63%となり、事業経営との関係性が判断できず関心が薄いことが推察されます。



質問5 貴社が「SDGs」の取組を推進する(または、これから推進していく)上で、課題と考えることは何ですか？(複数回答可)

課題としては、「学習の機会が無い」、「教育できる者が居ない」、「取組方法が分からない」、「取り組む意義・メリットが不明」との回答が多く、SDGsの情報を得る機会が少なく、取組や意義が浸透していないことが伺えます。



○その他の意見内容

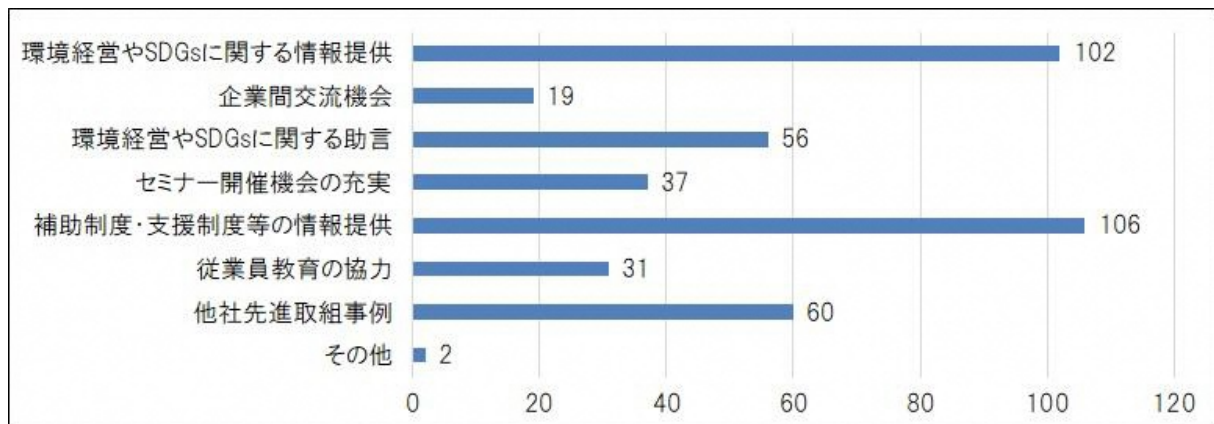
- ・ 経営者・管理職が必要性を理解できない。
- ・ 大切なことなのでしっかり勉強した上で、早急に取り組む予定。
- ・ 外部評価がない→取組が合っているか不明。
- ・ 商品を販売するうえで環境配慮やSDGsに普段から取り組んでいる。
- ・ 環境活動推進により自然と貢献することになるが、SDGsとしての意識が希薄である。

- ・ 効果的な省エネ投資によるCO2排出削減。
- ・ 中小企業での運用はかなり重荷。
- ・ コロナの影響からの会社業績の回復。
- ・ SDGsそのものがわからない。
- ・ 人的・時間的余裕がない。
- ・ 推進する専門組織が無い。
- ・ 現在のところありません。

3 期待する支援策について

質問6 貴社が「環境経営」や「SDGs」に取り組む上で、どのような支援策を期待しますか？（優先順位の高いものから3つを、数字で1,2,3と御記載ください。）

期待される支援策としては、「環境経営やSDGsに関する情報提供」、「補助制度・支援制度等の情報提供」が多く、優先順位としては「環境経営やSDGsに関する情報提供」が最も多い結果になりました。質問5の回答でも見られたように、SDGsに関する情報を得る機会が少ないことがわかりました。



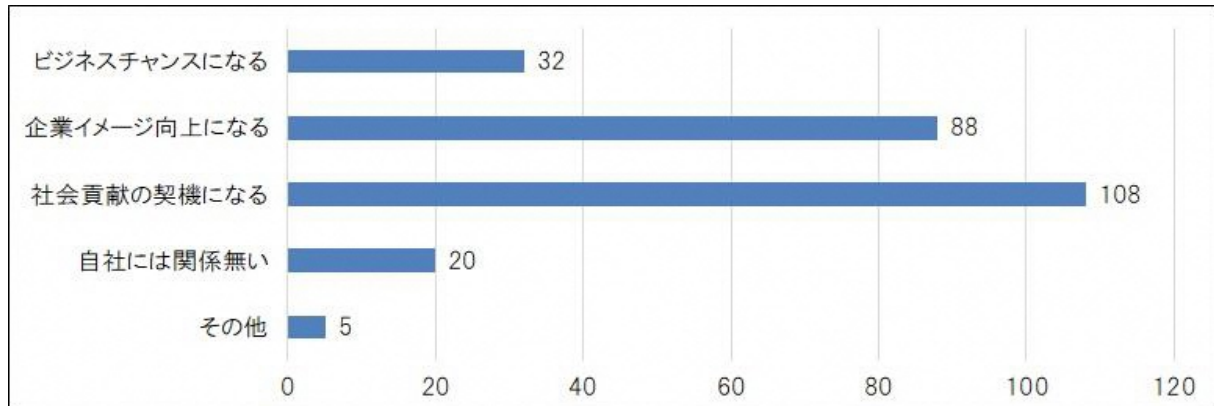
○その他の意見内容

- ・ 取組は各社個別的で自社の状況を客観的な視点から一緒に分析して、取り組むべき内容を決める、実行、評価など、プロセスも支援してほしい。
- ・ 金銭補助

4 これからの経営課題について

質問7 「SDGs」や「地球温暖化対策」に取り組むことについて、貴社はどのように考えますか？（複数回答可）

「社会貢献の契機になる」、「企業イメージの向上になる」との回答が多く、SDGsや環境問題に取り組むことが対外的なアピールにつながると考える事業者が多いことがわかりました。

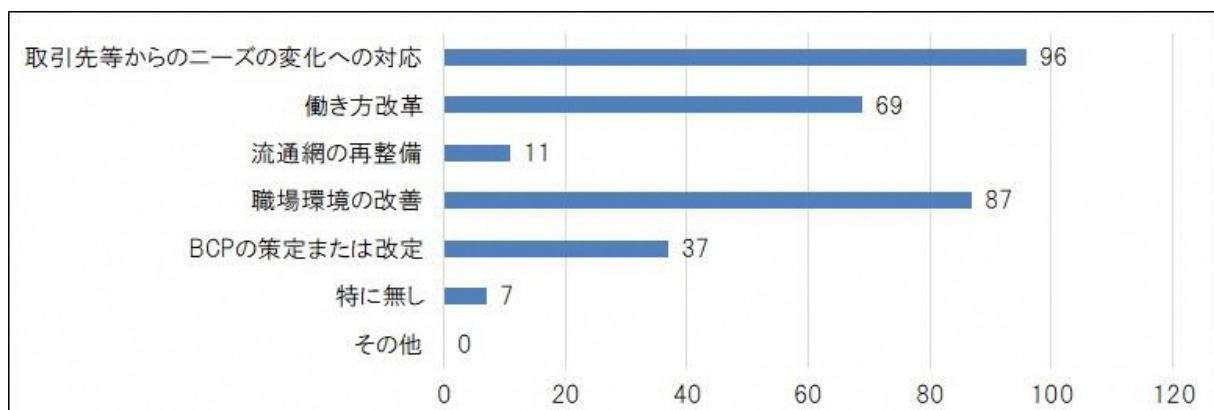


○その他の意見内容

- ・会社という組織で取り組むということは、個人で理解していないと大変だと思う。
- ・未来の自分達のためになる。
- ・化石燃料より太陽エネルギー転換による客先の減少。
- ・顧客からの要求、社会的な動向により取り組みは必須と考えています。
- ・企業の責任。

質問8 新型コロナウイルスの影響により、「新しい生活様式」と「経済活動」の両立が求められる中、今後の経営課題として、どのようなものが考えられますか？（複数回答可）

「取引先等からのニーズの変化への対応」、「職場環境の改善」の回答が多かったことから、新型コロナウイルスの影響により、新しい生活様式にあわせた経済活動の仕組みへの転換が課題と考える事業者が多いことがわかりました。



5 自由記入欄

- ・当社はあまり環境負荷物質の作業はしていないと思う。また、産業廃棄物については業者に依頼しているため問題視していない。そのため環境に対する意識は薄いです。熱や煙の発生もない。
- ・コロナウイルスの影響により会社がやっとなです。
- ・動産業のため、幅広い面と部分的な所がむずかしい。
- ・コロナを言い訳にして何もしない人たちが多い気がする。
- ・エコアクション等の審査が甘い。環境への配慮といつつ、一面しか見ていないこと、環境への配慮にはつながっているが、企業の在り方が欠けているところも多い。報告だけを鵜呑みにしている様な気がします。総合的かつ専門的な審査をきちんと行ったほうが良いと思います。
- ・自社のような零細企業は正直何をどうするか良く解りません。
- ・「SDGs」「環境経営」に対して理解が不足している。情報の提供をお願いしたい。
- ・SDGsは取組みをしなくてはいけないと考えますが、経営にすぐに結びつかないので、今は何もできていない。これからは少しでもよいから社員教育のなかにこれらの考えを共有できるようにしていきたいと考えています。
- ・個人的にはなるべくEV車をシェアするように心がけています。行政側がEV車に対する意識が低いように感じられます。まずは行政の意識改革していく必要があるのではないのでしょうか？我々の努力にも限度があるように感じてます。
- ・主張が概念的すぎて、実際弊社のような製造業の会社で思い付くのは、資源の枯渇を防ぐため、廃油の精製再利用とか、紙の再利用等あるいは効率の良い業務による無駄な電気の節約程度しか考えられません。
- ・コロナ感染拡大の渦中、本業以外の施策に対して疎かになっているのが現状です。
- ・現況の事業活動の中でSDGsの取組を運用して行く余裕がない。
- ・コロナによる減収に色々な事に手が回らない。
- ・必要性も重要性も承知しているが会社を持続させる方がもっと重要であり、それ以上の余裕はない。
- ・コロナ禍、今後の変化にこのアンケートはどこまでお役にたつのでしょうか・・・
- ・環境の取組み(数値目標としてはCO2削減、廃棄物削減、給水量削減)を実行しているものの、コロナの影響やその他の要因で仕事量が減少し、設備投資が出来ず目標値が大きく未達になっている。
- ・現在、会社として営業を行っていません。
- ・SDGsは全世界共通のゴールとして認知が進んでいると感じています。SDGsを経営に取り込み、企業価値を高める指標として活用する企業も増加していると認識しています。一方、SDGsに記載されている内容が広範囲かつ壮大であるため、理解や解釈、自社にとっての優先度や具体的目標の設定に各社苦労しています。

Ⅲ 総評

今回のアンケートにより、新型コロナウイルスの影響で経営が厳しい状況の中であっても、環境対策やSDGsの取組については前向きに考えている事業者が多いことがわかりました。

そのような中で、環境への取組やSDGsに関する情報を必要としている事業者が多いこともわかり、情報提供することによってSDGs等の理解が広まり、取組を推進する事業者が増える可能性があることもわかりました。

令和3年5月

川越環境保全連絡協議会
エコアクション21地域事務局さいたま
川越市（環境部環境政策課）
（協力）
川越商工会議所